

会 議 事 録

1 会議名	平成29年度第4回長岡市高齢者保健福祉推進会議
2 開催日時	平成30年3月13日(火曜日) 午前10時から午前11時30時まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	(委員) 本田委員長 長谷川剛副委員長 加邊委員 金子委員 柄澤委員 鯉江委員 小西委員 小林啓一委員 佐合委員 竹内委員 長谷川和明委員 長谷川美恵子委員 藤田委員 堀委員 村松委員 山崎委員 吉井委員 米山委員 (事務局) 福祉保健部長 福祉総務課長 介護保険課長 長寿はつらつ課長 健康課長 長岡市社会福祉協議会事務局長 ほか関係職員
5 欠席者名	小林守委員、林委員
6 議題	(1) パブリックコメントの結果について (2) 第7期計画(最終案)について (3) 地域福祉計画(最終案)について (4) その他
7 資料	別添のとおり
8 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉総務課 課長補佐	<p>皆様、本日は年度末の大変お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。これより今年度最後となる第4回長岡市高齢者保健福祉推進会議を開会いたします。</p> <p>私は進行を務めさせていただく福祉総務課の江田と申します。どうぞよろしく願いいたします。恐縮ですが、座って進めさせていただきます。</p> <p>お配りしております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前にお配りしましたものが、次第のほかに資料No.1からNo.3までございます。</p> <p>No.1がパブリックコメントの結果について、No.2が計画の最終案、No.3が地域福祉計画の最終案ということでお配りしております。</p> <p>また、本日机上に配布しましたものが、皆様の配席図となっております。</p>

<p>委員長</p>	<p>ります。お手元に無い方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ここからの進行は委員長にお願いします。</p> <p>皆さん、おはようございます。第4回ということで、これまでの皆さんの意見をフィードバックし、事務局のほうでまとめていただいたようですので、今日は全体的な話をさせていただきながら、また、介護保険料等いろいろとありますので、よろしくをお願いします。</p> <p>今日は議題1、議題2、議題3、議題4という形になっております。第7期ということになりますけども、議題1はパブリックコメントの結果について、事務局からお願いします。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>(資料No.1の説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>寄せられた意見が無かったということで、次の議題に行きたいと思います。</p> <p>第7期計画案について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>福祉総務課長 介護保険課長</p>	<p>(資料No.2の説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>平成12年から始まった介護事業計画等々、第7期等々、今日また高齢者福祉計画があつて、介護保険計画があるわけですけど、保険料の問題、そして施設の問題、その他に先回の問題点がはっきり分かってきたということでございます。</p> <p>みなさんの方から御意見、御質問ありましたら、積極的にお願いします。</p> <p>先ほどのメッシュの資料編のところなんですけども、赤字のところがございますけど、これは施設に入られている方もその中に入っているという理解でよろしいでしょうか、それとも、違うのでしょうか。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>入所者の方もこの部分に反映しているものでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど説明がありました87ページの保険料の算定の件ですが、大変努力されまして、この第7期において保険料が減ったということは素晴らしいことだと思っています。</p> <p>第5期ですと5,791円、第6期が6,108円、これが5,967円に下がった、額的にはそんなにといい感じですが、これは画期的なことですよ。初めて保険料が下がったという訳ですから。ただ、この</p>

なかで質問したいのが、居宅介護サービスです。この居宅介護サービスが、例えば6期だと303.5億円ぐらい、今回が287億に下がって、地域密着型というのは徐々に増えてきている。5期から6期、7期と見ましても徐々に増えてきていて、これはやむを得ないというかいい方向ですよ。

問題は施設介護サービスなんですけども、これは今回の第6期から比べると298億から287億へ若干下がってますね。これも素晴らしいことだと思っています。いずれ団塊の世代が75歳以上になる平成37年、2025年、この頃には多分保険料の基準額というのは9,000円ぐらいにのぼるだろうという予測が立てられております。しかしながら9,000円というのは大きな額になりますので、そこに保険料を下げしていく努力が必要なんだと思います。ここに書いてありますように保険料や利用者負担において、所得に応じてこれを負担してもらうということ。

もうひとつは、施設整備は真に必要な整備を見極め、かつ適切かつ計画的に進めると明記されております。これはもっともだと思いますし、新潟県全体から言っても全体的に新潟県の施設整備費というのは上位の方に来ていますよね。そんな意味においても、施設整備費については、真に必要な額だけ、あるいは計画的に進めていくことが大事なことだと思っています。

お聞きしたかったことは、この施設整備費の中には、例えば、施設を作る時の補助金なんかは含まれている訳なんですね。さらに人的サービス費も含まれている訳なんですね。今後、施設整備費について適切かつ計画的にという、具体的なイメージはどんなふうに抱いているのでしょうか。

保険料はこれから2025年にかけて膨らんでいくことは目に見えてますので、その中で一番ポイントになるのは、この施設整備費が今後いかに減らしていけるかというところかなと個人的に考えておりますので、そう意味においては、適切かつ計画的に施設整備を進めていくというのは、どんな具体的なイメージで考えておられるのか、お聞きしたいと思ひまして。

施設整備に掛かる費用は介護保険には含まれておりません。補助金等は国、県、市から出していくという処理の類で、整備後にその施設で行われる各種サービス、そちらの方を介護保険料で見っていくというものでございます。施設整備に純粹にかかるコストに関しては考えていないということでございます。

今の御質問に対する答えとしてよろしいでしょうか。

私のほうも理解が浅いところで質問しておりますので、私自身も

福祉総務課長

委員

	<p>何を言っているのか分からない感じなんだけど、多分これから施設整備に掛かる人件費、要するに介護費用ですね。こういったものを施設そのものを抑制することによって減らしていこうと、こういう意図なんですか。そこまでは考えていないですか。</p>
<p>委員長</p>	<p>基本的に分かっているのは、介護保険料の中に施設整備のためのお金は入っていないかということで、施設整備をするには、どちらかと言うと各法人、事業者が自前でやるというのが基本です。</p>
<p>委員</p>	<p>昔は、施設整備する時は国、県、市から膨大な補助金が出たんです。今はお金の掛かる特養とか老健とかは、作るのが減ってきていて、アパート形式の民間が自力の資金で作るようなものが増えてきて、サービス付き高齢者住宅とか補助金あまり出ない建物が増えてきて、補助金が出る建物が減ってきています。増え方は昔に比べて緩いはずです。</p>
<p>委員長</p>	<p>先ほど平成12年からと話しましたが、その前は、国、県、市が補助金を出して、建物を作って、それ以降介護保険料ということで進んで、各法人の努力の面があるということでございます。</p> <p>各法人は大変な面もございますけども、理解をして、建物を作っていたり、高齢者サービス事業を実施しています。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>少し補足させていただきます。</p> <p>施設整備費に掛かる直接の整備費は入ってませんが、御承知のとおり、施設が出来れば当然そこで実施されるサービスが給付対象になります。その給付費というのが、介護保険料としては色々反映されてくるということがありますので、今後、中長期的に見て、どういうニーズがあるのか見極めたいうえで、適切な施設整備を今の既存のものに加えて、不足が無いように整備していくということでございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>凄い数字ですね。他市等々の介護保険料はどのような感じなんですか。</p>
<p>介護保険課長</p>	<p>長岡市は介護保険事業計画期間中に給付費と認定者数の伸びが従来に比べてゆるやかになっている状況というのは、県内各市も同じ状況でございます。ただ、県内各市のなかで、施設整備のお話があったのですが、市町村によって持っている施設の数も違えば、提供されるサービスの量も違う。それを勘案したなかでどの市も小幅な値上げと伺っております。まだ結論は出ていないんですけども、県内、</p>

	<p>当市を含めまして介護保険料を下げるというお話も伺っております。ただ、ここも各市町村の状況によりますので、一概には言えないんですけども、計画のなかにあるとおり給付費がゆるやかになっている状況、お元気な高齢者の方が増えている状況はどの市も同じであると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>介護保険料が下がっているということは、市民にとっていいことだと思ったんです。</p>
	<p>細かいことなんですけども95ページのところ、認知症対応型通所介護のところ、その下も認知症対応型通所介護ということこれはグループホームの間違いでしょうか。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>共同生活介護です。御指摘いただきありがとうございます。訂正させていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケート調査を2本やらせていただきまして、長岡市の高齢者の実態というのも少し分かったかなと。地域福祉の報告書を納めさせていただきました。</p> <p>長岡市の高齢者は、老健の指標とかJSTの指標をみても、比較的強いんですね。だから、まだまだ地域社会がしっかりしているのかなというふうに思います。</p> <p>シルバーの講演を頼まれてまして、そのために整理したものが若干あるんですが、平均寿命でいうと男性が80.98、女性が87.14なんですけど、平均寿命というのはあくまで今生まれた人が何歳まで生きるかということで、乳幼児でも亡くなる子はいるわけですから、実際には平均余命で見ていくとかなり上がるんですね。</p> <p>今が65歳の男性の場合だとこれから19年生きられる訳なんですね。65歳の女性の場合だと、まだ24年生きられて、女性の平均年齢よりも2、3年は上がるんですよ。75歳でも男性の場合は12年、女性の場合は16年ぐらいということで、実際に言われている高齢化率よりももっと長いんですよ。そういったことを考えたときに、やはり地域包括ケアシステムについて、厚生労働省のホームページに長岡は先進事例として紹介されてますけども、それなりにはやられているなかで、どういうふうに作っていくのかということですね。高齢化社会にどう対応していくのかということが非常に重要になるんじゃないかと思っております。ぜひ長い目で地域包括ケアシステムを作っていくという方向を考えていただきたいなと思います。</p> <p>この計画はこの計画で、もちろん今やらなくてはいけないことなんですけども、地域にとって大事なことは、長い目で見てどういうふうに対応していくのかということ。国勢調査の結果を見</p>

委員	<p>ると山古志地域はすでに高齢化率が48%なんですね。その辺も考えて、短期的な対策と長期的な展望が重要になるんじゃないかと思います。</p> <p>132 ページの公共交通機関の促進というところで、先回の御意見を踏まえていただきましてありがとうございます。ローカル地域では、直近の課題なんですけども、なかなか前に進まないというのが実態だと思います。なかなか利用者数も伸びないし、登録数も伸びていないという話も聞いています。小国が先行してNPOでやりますよね。そこの実情を調査させていただきました。いろいろ問題がありまして、高齢化、人口減が背景にありまして、なかなか利用者数は伸びない。それから、これから実施するところで問題なのは、運営母体を誰がするのかということが一番大きな壁になっています。長岡市はNPOか町内会という指導を受けているんですが、町内会等で具体的に出来るのかということもNPOの人達に聞きたいところだったんですけども、町内会が単一でやろうということであれば出来るけれども、いくつかの町内会連合会みたいなところでは非常に難しいのではないかと、という御指摘をいただきました。</p> <p>一番目の課題としては、現状として利用者が伸びていないというところをどう捉えるのか。これからの先行投資という意味で福祉という意味で、市が全面的に応援していただかないとダメなのではないかというのがひとつあります。</p> <p>それからもうひとつ、運営母体についてですね。もう少し緩やかに具体的に実施可能な団体みたいなものに幅を広げていただかないとなかなか前に進まない。足踏み状態というのが現状でございます。</p> <p>これは交通政策課との話ということになると思うんですけども、現状を御理解いただいて、前に進むようお願いしたい。以上です。</p>
委員	<p>長岡市のところで分布図を見ると、認定者数の地域差とか事業者数の地域差とか、どこもそうなのかもしれないのですが、やはり福祉サービスが旧長岡市が中心になるけど、結構地域差があるなど。地域差をどのように対応していくのかということが長期的な視点に入るのかということと、福祉事業所のところではサテライトの促進をして行くことも今後必要ではなかと感じました。</p>
福祉保健部長	<p>先ほどの交通の問題と地域格差とかその辺りを踏まえてお話させていただきたいのですが、本日はあくまでも地域福祉計画と介護事業計画という絞った観点です。やはり今ほど委員の方々がおっしゃった点は、長岡市としても非常に認識しているところなんですけども、福祉政策だけでカバーするには大きな話で、もう少し大きな広い観</p>

	<p>点から、公共交通の話もそうですし、部局間をまたいで一緒に連携を取り、高齢社会ですからその中でのまちづくりという視点で、どうい政策が必要なのかということで、今後市全体として対応していきたいと内部でも常々検討しているところです。</p>
<p>委員長</p>	<p>時間もありますので、次に移りたいと思います。 (3) の地域福祉計画について、事務局の説明をお願いします。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>(資料No. 3 の説明)</p>
<p>委員</p>	<p>この計画もそうなんですけど、地域という言葉がキーワードで出てきていて、さっきの高齢者のなかでは日常生活圏域という概念があるわけなんですけども、例えば自分が市民だった場合、地域というのは何を指すのか、というのがなかなかイメージできないのかなということです。さっきの生活圏域も我々はこの会議に出させていただいているので分かるのですが、それごとにサービスをやっていくのであれば、少なくとも自分が住んでいる場所がどこの所なのかが分かるような仕掛けが必要なのかなと思います。</p> <p>地域が大事だというのは福祉だけではなくて、例えば防災の面とか教育の面とか、いろいろなところで言われてますけど、これをひとつにするのは難しいのかもしれませんが、長岡市としてどういふうな地域でやっていくというのを統一した方がいいのかなと思っています。</p> <p>先ほど町内会の話がありましたけど、町内会と一括りに言っても200世帯、300世帯ある町内もあれば、数十世帯の町内もあり、ばらつきがあってこれを統合するのは、きっと歴史的な経緯とか地域性があるので、そう簡単じゃないのは十分理解はしているんですけど、それだけ地域が大事なのであれば、何処かで整理統合することを検討する場所があってもいいのかなと感じたので意見を述べさせていただきました。以上です。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>今の御意見はごもっともなところがあります。福祉の世界だけでも地域の捉え方は複数ありまして、この地域福祉計画の15ページにもそのことを記載させていただいております。</p> <p>町内会、もっと小さく言えば御近所、そういったところから広がって、これら含めて全部地域という言葉で、日本語ひとつで片付けられています。そういったことが全部統一されて、地域はこの単位だということが理想だと思うのですが、これまでの活動の経緯とか歴史的な経緯とかいろいろとございますので、この辺は時間をかけてというところだと思います。</p>

	<p>長岡市の福祉の分野では、来年度から例えば高齢福祉だとか障害福祉だとか、健康づくりの活動とかいろいろございます。それらを新しい地域包括という括りのなかで、トータルで提供する取組みを始めようとしています。これが30年度から取組みを始めようとしているところなんで、これも数年かけていけば住民の方によりわかりやすい地域の単位が出来ていくのではないかと感じています。もう少し時間掛かりますけども、今いただいた御意見の趣旨を踏まえながら進めさせていただきます。</p> <p>個人的なんですけど、一昨日ぐらいに映画を見ました。ホームカミングという映画なんですけど、その中で、もう一度地域を見直そうというような、退職した方が地域に入って何もすることがない。現実に今たくさんいると思います。一人一人は才能があるんですけど、それをいろんな人が見出してくれるというような映画なんですけど、褒められればどんどん前向きにしてくれるということで、地域の繋がりを作るということは皆さん大体分かっているんですけど、それが上手く実行できない。いろんな方の特徴あるもの、一芸ある人達を探すというところから始めればいいんじゃないかと思っています。</p> <p>私も前職の時には社会福祉協議会に居たんですけど、一芸プロジェクトみたいなのがあって、探す形をしました。</p> <p>そしたら落語が出来るという人がいましたし、手品という人もいました。そういった方たちを地域の公民館などに行ってやってもらおうと楽しかったと。じゃあ次の地域でもやろうかと。人の輪が出来ていくということもありますので、地域にいる一芸を持っている人、自薦他薦問わずそういう人を集めて、人の輪を作り、さらにネットワークを作っていければ、繋がりのある地域づくりが出来るのではないかと考えております。一例でした。</p>
委員	<p>104 ページのシルバーの表なんですけど、受託件数が増えていないようなんですけど、自分の経験を活かせるような障子の張替え等とてもいい経験がありますので、受託件数が増えるようにもっとPRをしていこうと思っています。</p>
委員	<p>私も退職してからボランティアを始めたりしているんですけど、その中で全てにおいて男性の参加が少ないというか、男性の方は退職すると時間を持て余している方もいらっしゃるのだけど、如何にして男性の力を活用していくかということも今後考えていければいいなと思います。私もシルバーにいたことがあるので、例えば、やすらぎ支援員というのがあるんですけど、やりたいという人はいるのですが、講習会がされなかったのですが、今年度は何年かぶりです</p>

委員	<p>予定されていたのですが、たまたま、大雪で中止になってしまいました。そういう講習会も今後やっていただければと思います。</p> <p>川口から来ましたので、皆さまも御承知のように、周りを見ますと、ひとり親とか色々とデータがありますけど、これから先のことを思うとゾッとするような話なんですよ。</p> <p>お隣はおばあちゃんと娘さん、そのお隣はおじいちゃんと長男、その前の方も長男のお嫁さんがいないんですよ。そうしますと、将来、数年後には大変なことになるんですよ。</p> <p>そうかと言って、今の状況では、長男がなかなか収入を得られない。そして施設に入れるにしても、川口の場合は特養がありますけど、なかなか順番が回ってこない。そういう状況なんですよ。</p> <p>そうしますと、一人で置いておくような形になるんですよ。そして、デイサービスには行きますけど、子ども達は勤めに行かなければお金を取れませんので、それまでもじっと家において、デイサービスの車が迎えに来て、雪国ですので高床ですから、そこまで行って降ろしてでしょ。もううちの通りはほとんどそんな状態なんですよ。10年経ったらどうなるのかなと思うんですよ。</p> <p>そんな中で良いなと思うのは、シルバー人材の方で、お友達なんですよ。夫婦で勤めに出ていますと、おばあちゃんが多少は認知度はあるんですけど、一人にしておくのはなかなか忍びないので、シルバーさんをお願いして、ワンコインでお茶飲みと言いますか、お話に行くんですよ。お昼近くに1時間でも1時間半でも行ってもらうと、子どもが勤めに出てても安心できるというか。</p> <p>シルバーさんの方が出向いて、その人のところにお邪魔すると言いますか、それを私は良いなと思ったんですね。川口は特に、まとまって行くというケアハウスも良いんですけど、それもお金が掛かることですし、一人でいても良いという方も多いですので、それも良いと思っています。</p> <p>今後きっと、川口は特に数値が進む思うんですよ。ですので、ぜひ、またそういったところも色々お考えになって、お願いしたいなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>地域福祉計画は本当に大きい。大きいというか、面的にじゃなくて、さっきの捉え方が色々あるのかもしれないけれども、そういう実態的なものが非常に分かりやすい部分があったりするのではないかと思いますけれど。</p> <p>この前も、川口の方、雪が凄いですね。ボランティアで雪かきをするグループがあって、一人暮らしのところとかを「今年4回ぐら</p>

<p>委員</p>	<p>い回りました」と聞いたことがあります。そうやってお互いに色々線で結んでいかないとですね。さっきの人もシルバーの方が一つの線になる。そうやって、線をたくさん作るのが大切なんだと、今お話を聞いて感じました。</p> <p>栃尾の高齢者も当然多いので、うちの町内は300世帯、約900人くらいいるんですが、何かやろうとすると、今「はつらつ広場」もやってるし、男性の方がなかなか出てこないの、ボランティアでワンコイン、それが100円で良いのか、500円になるのか、500円じゃ高すぎるのかちょっと分からないんですが、ひと月に1回、一人暮らしの方がみんなと一緒にご飯を食べれる場所を公民館で提供できないかということも今検討中なんですけど、何をやっても出てくる人は毎回出てくるんですが、出てこない人は何をやっても出てこないんですね。</p> <p>「出てこない」のか「出てこれない」のかという見極めをまだしていませんが、そこにどうやって焦点を当てて良いのか。そういう人は介護保険も使っていない独居の人が多いので、アクティブシニアと言われるような動きの活発な人たちも結構おられるので、何人かの方がおっしゃられていたように、そういう人たちが活躍できる場を作っていく方向を見出せば良いのかなって。</p> <p>一つは、町内で防災を兼ねて、誰が、日中とか夜間を考えると、日中は人手が無いわけですよ。そこで、そのアクティブシニアがどうやって避難する人たちを援助できないかかっていう話を今持ち掛けようとしていく段階なんですけど、こういう話を出すと、非常に慎ましく遠慮されるんですね。なかなか積極的に参加してもらえないというのがあります。栃尾だけでなく、他の地域でもこういうことが多いのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、市の方も色々「おたっしゃクラブ」というか、色々会う機会を色々工夫というか、色んな切込みの中で人と人が会う機会を相当やられて、健康の側面からどうなんですかね。</p>
<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>今もお話がありました「はつらつ広場」は、各団体の皆さんが一生懸命やっただいて、現在46か所のところで活動していただいております。それから、介護予防サークルも約300弱ありますし、その他にも「お茶の間」ということで色んな活動をされていると思います。</p> <p>それにしても、委員がおっしゃられたように、出てこられる方はほぼ固定化されていきているのが現状でありまして、来れない、あ</p>

<p>委員長</p>	<p>るいは来ない、あるいは無関心の方も、健康づくりとか介護予防事業についてどうするのか、私どももちょっと苦慮しているところですが、少しずつ進めていきたいと思えます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>こういう話を色々出すと、色々具体的に見えるものがあったりしますけれども、社会福祉協議会の方も、市と重複するところが結構あるのかもしれないんですけど、220～230 の色々な会が各地域にございますので、そういうのとまた連携をしながら、さっき言った呼び込みというか、来てくださるような工夫をしたりというのにも必要かなと思えます。</p>
<p>副委員長</p>	<p>民生委員の方から一つお願いというか、高齢者現況調査が始まっております。「高齢者」となると、65 歳になると「高齢者」と分類されるわけですね。現況調査で回っていると、「俺はまだ高齢者じゃないよ」、「そんな年寄り扱いをしないでくれ」というような御意見もございます。</p> <p>国の方もこれからだんだん、少子、子どもがいない、高齢者が増えてくるということで、おそらく保険とか色々な面でお金が掛かるというのがネックになっているのではないかと私は勝手に思っておるのだけれども、その中で、70 歳から「高齢者」と読んだらどうなのかなという御意見もあるようには聞いておりますが、長岡市として、国がそう決めているから 65 歳以上が高齢者というような位置付けをしていると思えますが、これをもう少し年齢を上げたらどうなんだろうかなというように、色んな各地域でも高齢者の方々も、色んな団体というかサークルというか、そういうところにまた加わってくれるんじゃないのかなと思えますが、いかがなものでしょうか。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>副委員長がおっしゃったことは、非常にもっともだと思えます。現実を見ると元気な高齢者も多いですし、高齢者の定義を何歳以上というのは、今後社会全体で決まっていくことなのだと思いますが、当面の私どもの判断としては、65 歳以上という定義に基づいた様々な制度がありますし、根拠の法律などがあるので、実際に長岡市は 70 歳以上を高齢者と呼びますとか、そういうことを宣言したとしても、やはりその制度を運用するためには、現在の 65 歳以上というのは、法律等が変わっていかないとなかなか今すぐ外せないということが現実的にはあろうかと思えます。</p> <p>ただ、それは制度の運用上のことでありますが、やはり元気な方々にはいつまでも社会貢献、社会参加をしていただくなかで、生きが</p>

委員長	<p>いを見つけられるような、そういう元気なまちにしたいという思いがありますので、それをどういう形でアピールしていくかというのは、また色々お知恵をいただきながら、市民へのアピールを考えていきたいと考えております。御意見をいただきありがとうございます。</p> <p>次のその他に移っていきたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。</p> <p>では、(4) その他ですけれども、皆さんの方から何かございますでしょうか。</p>
委員	<p>第7期計画のところ、法人の努力で施設が整備されるということが分かったんですけれども、結局、私は身近にそういうところを利用している人がいっぱいいるんですよね。</p> <p>小規模多機能はとても良いですよ。家にいたり泊まったりができて良いということで、母一人、子一人の近所の方が利用していたんです。ところが、泊まりをしないで息子さん、娘さんが帰ってくるから夜は家に一緒にいたいわけです。</p> <p>でも、法人としたら新しい施設を整備して、泊まりが無いと居住費なんて非常に足りないんでしょうね。はっきり言って違う施設に移るように勧められたんだそうです。</p> <p>一泊いくらかと聞いたら一泊2,500円だと言うんですよ。そうするとやっぱりきつって言うんですよ。介護保険の一部負担金は決まっていますよね。そして食事代があって、プラス居住費となると、一日泊まると2,500円、十日泊まれば25,000円取られるわけですよ。だからと言って向こうの人に悪いとは言えないから、ちょうど新しい施設ができたので、そっちのグループホームに今度移るのよって話を聞いていくと、昔は非常に安いお金で利用できていたんですけれども、例えばショートステイを利用すると、行った日は2時に迎えに来ます。帰りは2時に送ってきます。でも、行った日も帰った日も取られます。一日2,000円だから、七日間行けば14,000円掛かるわけなんです。それは介護保険外の自己負担です。食事とかそういうのは当たり前なんですけど、法人だってやっていけないと思うけど、非常に自己負担が増えているということを私は気づいて考えたんです。だから、もし私たちが75歳を過ぎて利用するときは、非常に利用しにくいっていうか、お金がいっぱいいるという現実があるんだなっていうのを今回感じました。そのことだけお伝えします。</p>
委員	<p>私どもは、まだ小規模多機能をそんなに運営していないので、そ</p>

	<p>の実態というのはまだ分からない状況もありますけど、施設にしてみると、やはり個室に泊まる方もいますし、どうしても自己負担が大きくなってきているのが現状だと思います。</p> <p>その中でも、私ども提供者としては、個室やユニット型もあるけれども、従来型の特養等もあつたりだとか、そういう状況もありますので、その人の状況に合わせたなかで選択できるように、その幅はあるようにサービスを揃えてはいきたいと思っています。できるだけ自己負担が厳しいという状況の方には、そういう状況の料金のところをきちっと整えて適用していきたいなと思っています。</p> <p>それと、地域密着型のグループホームもあるわけですけど、グループホームももう少し工夫があつて、安い料金でもって使えるような何か方策があると良いかなと思います。</p>
委員	<p>地域福祉計画の28ページ「ボランティアの育成」というところで、中学生とか高校生が対象のボランティア講座とかが載っていたと思うんですけど、このへんを積極的に、講座の中身をまたどういうふうにしていくかというのは、本当に期待しているところではあるんですけども、中学生・高校生にボランティアを通して、その中でもって福祉と介護というところに興味を持っていただきたいというか、そうすることによって、人材不足ということが言われているなかで、こういう講座の中でも、そちらの方に中学生や高校生たちに目を向けていただいて、今後将来ですね、もちろんボランティアという活動こそ大事だと思うんですけど、大人になって福祉・介護のことをまたボランティアとして学んで、そういう目を持って、私どもの方にまた来ていただくという状況が人材の不足のところを解消できる一つの方法でもあるのかなというように思いましたので、ぜひ積極的に中学生・高校生、小学生もそうですけれど、育成推進を積極的にお願ひしたいと思います。</p>
長岡市社会福祉協議会事務局長	<p>社会福祉協議会ではこれまで、小中学生、高校生まで対象にして、ボランティア教育の支援を行ってきたところでもありますし、ボランティアセンターを市の方から委託を受けまして、市と連携しながら取り組んでいるところでもありますので、今後もしっかりと力を入れてまいりたいというふうに思っております。</p>
委員	<p>大変お時間を掛けて、まとめられたこの計画、大変素晴らしいと思います。</p> <p>一つ質問させていただきたいのですが、それぞれの各論で、今後の方向性とか、今後の課題というのがたくさん書いてあります。この一つ一つの今後の方向性について、担当する部署であつたり、外</p>

福祉総務課長	<p>の団体であつたりというところまで決まっているのか、あるいは皆さんの中でコンセンサスが出来ているものなのかということと、この中でも優先順位というものは既に付いているものなののでしょうか。</p> <p>基本的にこの2つの計画とも行政が作っている計画はどれもそうなのですが、実施主体だとか担当がはっきりしているようにしています。よくありそうな絵空事を書いて、きれいごとを書いて、でもどこがやるか分からないということはないように、責任を持って実施するところをある程度想定しながら、あるいは、今あるものについてはっきりと記載しているものもございます。</p> <p>この2つの計画は、担当課というところは記載しておりませんが、そこは策定の作業の中で私どもは意識するようにしています。</p> <p>優先順位のお話がありました。これらの計画の中では、優先順位は示しておりません。その時の状況によって優先度が入れ替わる可能性もありますけども、行政が作る計画の中には、優先項目というか、優先プロジェクトという形で作るものもありますけども、この福祉の関係の計画については、そのような形になっておりません。行政としては、毎年度の予算がありますが、今年度はここに力を入れますというものがあるというところで、御理解をいただければと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。よく分かりました。</p> <p>自分が今立たされていることを参考に感想としてお話をさせていただければと思います。歯科医師会で地域連携を担当しなさいということをおっしゃっておりまして、この地域連携は、国の基金事業なんです。けれど、今まで自分の診療所で歯医者をやっていたので、それぞれの診療所で自分のところで患者さんを治療したり、あるいは細々と訪問診療に出て行ったりということをしていました。</p> <p>ところが、いざ仕組みづくりをしなさいと言われてたときに、色々考えて自分なりに色々勉強して、仕組みをどうやって作ろうか、地域包括ケアシステムの中で医師会や薬剤師会にお願いしたり、それこそここに御出席の委員さんにお願いしたりとか、いろんなことをして、そういう仕組みづくりをしようと思っ進めているんですが、一方、自分はただの歯医者で、一人一人の患者さんを診るということになると、その仕組みと実際の日々起きていることっていうのが凄くギャップがあつたりして、それを近づけるのが容易じゃないなど、なんとなくは分かってはいたんですけど、本当に実感として分かるようになりました。その中で、市役所の皆さんが本当にそのところを色々どうやったら良いんだろうということで、仕組み</p>

づくりをなさっているっていうところが本当に大変なことだなと思い、心から感謝するとともに、本当に素晴らしいのでぜひ頑張ってくださいということをお願いなと思いました。

その中で例えば、つい最近あったことと言えば、比較的年齢の若い障害者施設から「この方々は口腔衛生に関する意識とか、そういったことがあまりできないので、ぜひこれをどなたか教えてください」という依頼が歯科医師会に来ました。じゃあどうしようかってなった時に、歯科医師会ではそういう予算を常に取っていないので、誰かを派遣するお金が無い。じゃあ、これって障害者施設だからどこかでお金が出ているんじゃないかなと思って調べてみたら、県のところでも「その施設は県が持っている仕組みには該当しません」、市の方でも「これはそういうことはありません」、それから施設の方も「お金は残念ですけど出せません」、それから施設の利用者の御家族もお金は出せませんと、やろうと思ってもできない。これをどうしたら良いのかなと私は思いました。私個人がボランティアで入ってやるということは、たぶん可能だとは思うんですけど、それが他の歯医者さんがみんなそんなことをするかと言ったら、なかなか日常業務があってできないだろうと思います。そういったまだ焦点が当たっていないところというのをここに御参加の皆さま方で、一つ一つ意見を挙げて、こんなこともありますというのを挙げて、それをまた吸い上げて、それをまた形にする市の方、あるいはそこでまた「残念ですけどそれはできません」というようなことを判断する市の職員の方は大変だと思うんですけど、でも一つ一つそういうことをやっていかないと、それこそ皆がともに幸せというか、安心して暮らせるところには、なかなか進むのがゆっくりになってしまうのかなという気がしたので、今日はそんなお話をさせていただきました。ありがとうございました。

福祉保健部長

高齢の計画とは少し外れますが、障害の計画も現在策定を進めておりまして、今ほど例に挙げてもらいました障害の施設の部分なんですけれども、現実的に障害というのは地域とそれほど距離が近くないというのが現実としてあるのだらうと思っています。

もう少し、あと1，2年程度は時間が掛かるんですけど、例えば、障害者の部分も地域の中で包含していけるような方向性で進めたいと考えておりますし、そういう中で、今おっしゃったようなことは、口腔ケアは高齢者の部分で制度として結構存在しますが、障害者の部分をどうするかというあたりについても、たぶんそういう地域の中や施設の中から現実的な課題として挙がってきたりして、どうしようかというあたりを一つの施設だけが対応するのではなくて、関係機関とか関係者が連携しながら新しい仕組みを作っていく

<p>委員長</p>	<p>ということに繋がるのかと考えております。</p> <p>そのためには、今のように課題を色んな所を出していただくということが課題解決にも繋がると思うので、ありがたいと思っています。どうもありがとうございます。</p> <p>その他ということで、だいぶ出尽くしたようですので、ここで(4)その他を終わりたいと思いますけど、色々御意見いただいた部分、さきほど福祉総務課長の方からもお話がありましたように、また一つ、言葉をもう一度見直して、言葉を吟味しながら、直すところは直して、そして製本に向かいたいということでございます。皆さんそれでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>事務局の方は委員長と副委員長に相談しますというお話もありましたので、そのような進め方で、もし変わるところがあったとしたら、そのように進めていきたいと思えます。</p> <p>では、第4回の会議を終わらせていただきたいと思います。マイクを事務局の方にお返しします。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>最後に、私の方から一つだけお話をさせていただきます。この会議はもちろん計画策定に関してやっていただいておりますけれども、完成した計画の進捗管理もしていただくことになっております。任期は3年で、これで1年が経過したので、残る2年は進捗管理をよろしくお願いします。</p> <p>予定では、来年1年後の冬、1月か2月あたりにこの会議を開催させていただければと思いますので、皆さんもまたよろしく願いいたします。私からは以上です。</p>
<p>福祉総務課長補佐</p>	<p>それでは、長時間にわたりまして御審議いただき、ありがとうございました。</p> <p>最後に、閉会にあたりまして、福祉保健部長よりごあいさつをさせていただきます。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>皆さま、本日はどうもありがとうございました。</p> <p>今回の計画策定に関しては、本日が最後になりますので、先ほど委員長からもありましたように、この後の修正等については、委員長等に御相談のうえ、より良い計画として完成させていこうと考えております。</p> <p>また、今後は進捗管理ということで、しっかりと皆様とともに確実な計画が実施されるようにしたいと思っております。今後会議を</p>

福祉総務課長補佐	<p>開催するのは年1回になりますが、日常の中、地域の中で起こっている色んな課題については、皆様が一番生の情報をお持ちかと思えますので、会議を待たずにいつでも御意見として、事務局等に教えていただければ、一つずつより良い方向に持っていけるように取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>また、先程お話がありましたように、まちづくり全体の中の福祉施策でありますので、この福祉施策だけでは解決できない部分もありますが、部局横断的に長岡市全体として捉えていきたいと思っておりますので、どうぞ忌憚のない御意見を今後ともよろしく寄せていただけるようお願いして、本日のごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、今回皆様に御審議いただいた計画についてでございますが、若干の微修正をした後に、しっかりと製本いたしまして、4月中旬に皆様のお手元にお届けしたいと思っております。</p> <p>それから、本日の会議録につきましては、皆様のお手元の方にまた後ほどお送りいたしますとともに、お名前を伏せた形でホームページの方にも掲載させていただきますので御承知おきください。</p> <p>それでは、以上で閉会とさせていただきます。</p> <p>皆様、大変ありがとうございました。</p>
----------	--